



発行 真宗大谷派 飛騨御坊真宗教化センター
発行者 三島 多聞
〒506-0857 高山市鉄砲町6番地
☎(0577)32-0776
*毎月20日発行 50,000部
三市一郡無料配布
印刷 山都印刷株式会社

念じられ 照らされて

中動態のススめ

益田 大輔

中動態と受動態という言葉をご存知でしょうか。「する」と表現する能動態と、「される」と表現する受動態、ご存知でなくとも、意識しなくとも、私たちは日常会話の中で使い分けています。「中動態」とは、インド・ヨーロッパ語族において、かつては能動態と対立する形で成立していましたが、「投げる、与える」など、主体から外に向けて動作が行われる能動態に対して、「生まれる、尊敬する、感動する」など、動作が主語に向けて行われる中動態がありました(現在の受動態はここに含まれます)。しかし、その後、時代とともに受動態の存在感が高まると、いつしか能動態と

受動態が対立する形(する/される)が定着し、中動態は人知れず消えてしまいます。さて、私たちの日常は、「する/される」の関係ではなかなか割り切れない出来事で溢れています。強制はないが、自発的ではない。自発的ではないが、同意はしている。そういう事態は日常に数多く溢れ、コロナ下で言えば、政府からの自粛要請を受け、やむなくお店を閉めた場合、果たして能動的に閉めたのか?或いは、受動的に閉めた(させられ)たのか?能動/受動が入り交じった心情もあるでしょう(イヤイヤ能動態)。

能動と受動を対立させる言語は「尋問する言語」とも言われ、「お店を閉める」という同じ事実の解釈も、自分の「意志」で閉めたのか、それとも他人の「意志」で閉めさせられたのかを、白黒はつきり執拗に尋問する傾向があります。「意志」は普段、良い意味で使われがちですが、哲学的には特定の行為をある人に所属させる(なすりつけ)機能があり、「君の意志がこの行為の出发点になっている」と尋問することで、責任問題に発展するわけです。大局的に観れば、どのような行為もそこに至るまでに数え切れないほどの因果関係が絡み合っているはずですが、「意志」はこ

〈略歴〉
一九七四年、福岡県福岡市生まれ。愛媛大学医学部卒。二〇〇五年より須田病院。二〇二二年高山青年会議所理事長。劇団コスモアタック主宰。精神科医・産業医。



の複雑な因果関係をばつさり切断する機能があります。「あなたが能動的に閉めたのだから保障はないよ」、「君が閉めさせたのだから保障してよ」、「命令ではなく要請ですよ」、「自発的ではありませんが同意はしたけれど...」。つまり、能動/受動の対立は、行為の「意志」を尋問し、物事の因果関係を切断して、責任を一方に過剰に追及する(自己責任論)構造になっているのです。(この構造が1990年以降の新自由主義におけるうつ病の発症・増加とも関係しています)さて、責任(responsibility)の語源は「応答すること」(response)です。責任は本来、「意志」とは関係なく、出来事に対して自分ごととして真摯に回答することであり、能動/受動で割り切れるものではありません。ある意味、責任は中動態でこそ記述できるものなのです。これから世の中は物質的なものを重視する時代から、目に見えないものを重視する時代に移ると言われています。時代が変わるからこそ、自分の行動を自分ごととしてしっかり受け止め、責任はいわばみんながシェアしていく中動的な考え方が重要なのです。

別院定例法座 午後1時から

4月28日 親鸞聖人ご命日法座 講師 北條 秀樹氏(了泉寺住職) 講題 「私は正しい?」	5月3日 三日のご坊 講師 澤邊 恵亮氏(誓願寺住職) 講題 「無明長夜の灯炬なり」
--	--

第38回 真宗公開講座 (第3回)

4月21日(水)14時~ <参加費500円>

講師 尾畑 文正氏 (同朋大学名誉教授)

講題 「世の中安穏なれ、仏法ひろまれ」

会場 高山別院 本堂

『私を照らすひかりの言葉』 酒井義一氏著(東京教区)

ご家族みんなで読んでいただきたい本です。

2017年9月まで『ひだご坊』紙で連載された酒井義一さんの『私を照らすひかりの言葉』が書籍化されました。ご家族みんなで読んでいただける本になっています。

B6判並製 126頁 価格:800円(税込)

おしなま くわんきり

問 色んな仏事があるけど、「のし袋の表書き」って、何て書けばいいかな?

答 確かに、お葬儀、ご仏事はたくさんありますね。包みものをご用意される時の「表書き」に迷われることもあるかと思えます。しかし、表書きの由来を知ると、案外簡単かもしれません。

まずは、お葬儀。この場合の表書きには、「御香典(奠)」、「御香儀」、「御香資」と書かれるのが良いで

しょう。では、なぜ「香」の文字が使われるのでしょうか?それは、昔はお香を持参してお葬儀にお参りしていたことに由来します。次は、ご親戚のご法事や、報恩講やお彼岸などのお寺の仏事にお参りされる時。この場合の表書きには、「御供」、「御仏前」、「御尊前」、「〇〇」と書かれるのが良いかと思えます。お釈迦さまのご説法をお聞きになる際、人々は一握りのお米や食べ物を手にして足を運び、仏前にお供えしていたことに由来します。ちなみに、このお供えをあとで皆で食べたことが、現代のご法事の後のお食事(お齋)の由来となります。最後に、「御布施」。これ

は、チベットでも今もその風習が残っているようですが、死者が生前着用していた衣類をお寺に納めるのだそうです。決して「謝礼」という意味ではなく、「仏教を次の世代に受け渡して欲しい」という、仏教の伝承と寺院護持という願いがあるのです。いかがでしょうか?こうしてみるとほとんど大差がないように感じますし、実は正解もありません。ただ、数ある表書きの文字から、仏教を大切にしてきた人々の生活があつたからこそ、今、私たちにまで教えが伝わってきたことを思うと頭が下がります。



家族で話そう

人生の

「こんなこと」「あんなこと」

佐賀枝 夏文

「聞く」と

カウンセリングと

ボクは長い間、心理カウンセラーの仕事をしてきました。しかし、一途に道を歩んできたわけではありません。子どもの療育、スクールカウンセラー、学生相談、産業保健相談、電話相談、メール相談などさまざまな分野に関心をもって心理カウンセリングをしてきました。この書き出しは、ボクの経歴をお話ししたいわけではありませぬ。心理カウンセリングのさまざまな分野に関わられたのは、心理カウンセリングに共通している「聞く」ということが一貫してあるからです。

「自己都合」で物語を描いているようにしか思えなかつたのです。相手の悩み苦しみを自分の都合で考え理解しようとしてしまふ、そんな簡単な構造のことがボクをモヤモヤさせ、越えられない壁を感じさせていたのです。それはさまざまな治療理論を学んでも解決しませんでした。

モヤモヤが残った

ボクは傾聴の基本を学び、カウンセリングの現場に立ちました。アクティブリスニングを学び、さまざまな分野へと領域を広げていきました。クライエントさんの悩み苦しみを傾聴することの重要性も理解したつもりでした。ボクは相談の現場でクライエントさんの話を傾聴し、理解し、カウンセリングをすすめました。指示や助言はしないで、基本通りに傾聴しているとクライエントさんの悩み苦しみがわかることがあります。いつの間にか基本をマスターしたと勘違いしてカウンセリングを進めていきました。しかし、いつのころか、カウンセリングを終えても気持ちが晴れないでモヤモヤを抱えるようになりまし。基本に立ち戻ると、たしかに、ロジャーズ理論は「無条件の肯定的配慮」「共感的理解」「純粋性」を背景に理路整然としています。しかし、ボクのモヤモヤは「傾聴」に立ち返ってもすっきりしない、モヤモヤが残りました。

「ここで聞く

傾聴からは聞くという行為から解放されませんでした。結局行きついたのは傾聴しないこと、傾聴しないカウンセリングということでした。転換したのは「ここに届いたことを味わう」ことでした。このことに導いたのは阿弥陀さまの本願は届いているということでした。傾聴から解放されてみると、クライエントさんとの対面も無理なく自然になりました。傾聴していたときは、クライエントさんの語りを聞き逃してはいけないと緊張もしていたと思いますが、「ここに届いたことを味わえばいい」と思ったとき、再出発できたように思います。このことは、すべてに通じると思います。大切なことを聞く場合、傾聴姿勢では「緊張」と「自己都合」がはたらきます。「聞く」には、構えずに「ここに届いたことを味わえばいい」のかもしれない。

その理由は、実は「傾聴」そのものにあつたのです。現場に立つと、カウンセラーのボクは自分の経験や知識をつなぎ合わせて相手を理解しようとしています。しかし、そうして悩み苦しみを傾聴すればするほど、ボクの「自己都合」がついてきてしまうんです。その

次回は尾角光美さんの「仏教×グリーフケア⑭」です。

高山1組真宗の会 第24回研修会(公開講座)

日時 5月12日(水)

午後2時から

講師 太田 浩史氏

(高岡教区大福寺)

テーマ 「同朋会運動の歴史とこれから」

場所 高山別院 御坊会館

会費 500円

高山1組 初まいり式



生まれた赤ちゃんと一緒に参りし、いのちの誕生を喜ぶ式典

日時 5月9日(日)

午前10時から

会場 高山別院 本堂

受取費 3000円

対象 3才以下のお子さま

申込期限 4月23日(金)

お申込み・お問合せは、担当の小原正寛(専念寺)まで

(090-2118818243)

※こちらのQRコードからもお申し込みいただけます。



ひだご坊 一口法話 URL: https://hidagobo.jp/sermon/ 5月1日から31日の期間は右の方々の法話を随時掲載してまいります。

- 多聞 氏 (別院輪番)
三島 亮 氏 (不遠寺住職)
四衢 氏 (不遠寺住職)
内記 浄 氏 (往還寺住職)
北條 秀樹 氏 (了泉寺住職)

お仏壇のリフォーム相談 受付中! 詳細はこちらへアクセス!!

お仏壇 ほりお 仏壇工房 高山市三福寺町369-7 TEL0577-33-6686

ブックス・アイオー 本と文具の贈り物はアイオーで TEL0577-3341766

池田電工 電気工事 岐阜県高山市塩屋町五五一-1416 TEL0577-3341263

大谷婦人会 5月11日(火)午後1時から 定例法座 三島多聞別院輪番

ごすぎACTのLINE始めました。 仏具の修理、写真を撮ってLINEから見積り依頼。 その他 質問などお気軽にお問い合わせください。

ドローン空撮 建築写真・測量用の撮影・PR映像 高山市桐生町71503 TEL0577-3350350

保険タイム 506-0059 高山市下林町916-1 TEL0577-35-1005

久寿玉 KUSUDAMA 平瀬酒造店 TEL34-0010

慈愛・共なる灯り 高山電気工事株式会社

温度差でおこる怖いヒートショック。浴室を暖かく対策しませんか。 暖かいお風呂は身体に大変良いです。 40件以上の実績 『暖かくなった』と喜ばれています お見積無料 高山市七日町3-102 TEL32-2577

相続 相談無料 河合亮一司法書士事務所 高山市初田町2-117 TEL0577-3515117

山都印刷株式会社 自主出版 編集・出版までお手伝い致します 高山市西之一色町二丁目九〇一八 TEL0577-3311495

お墓の新設 リフォーム クリーニング 墓じまい お墓のお悩み、ご相談ください。 株式会社奥田石材 OKUDA TEL0577-33-9601 高山市新宮町2498-1